



社内標準

(技術標準)

管理基準：一般顧客用

日本エー・エム・ピー株式会社

取付適用規格

Application Specification

114-2023-1

187シリーズ・ファスティン・ファストン

タブ及びリセプタクル・コンタクトの圧着条件

Tab & Receptacle contacts Series 187

1. 適用範囲

1.1 内容

本規格は 187 シリーズ・ファスティン・ファストン (FASTIN-FASTON*) タブ及びリセプタクル・コンタクトの圧着条件について規定している。この条件は自動圧着機によって圧着されるコンタクトについて適用される。本規定に網羅されている本製品についてのそれぞれの電線サイズや絶縁被覆径の範囲に関しては Fig.4 を参照のこと。

1.2 参考規格類

適用性能必要条件に関しては、AMP 製品規格 108-2002 を参照のこと。

2. 部分名称

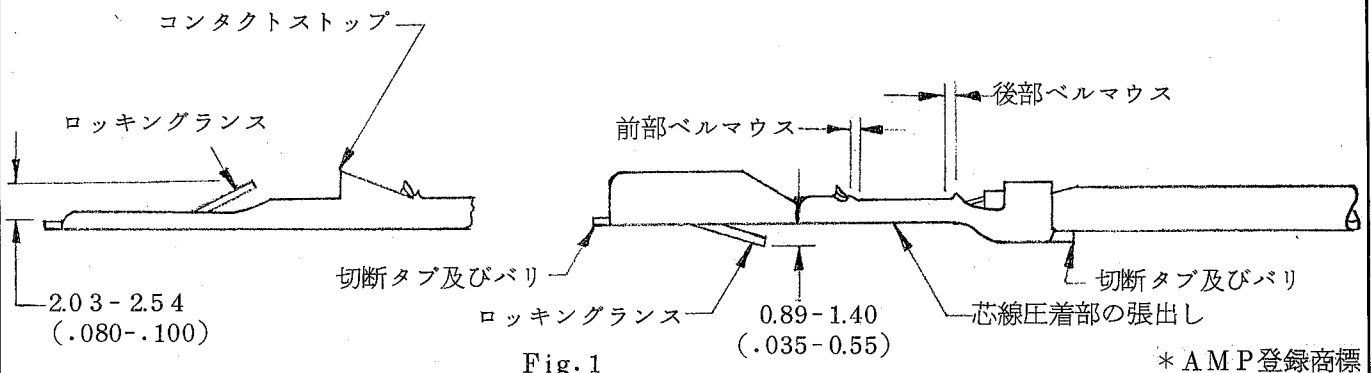
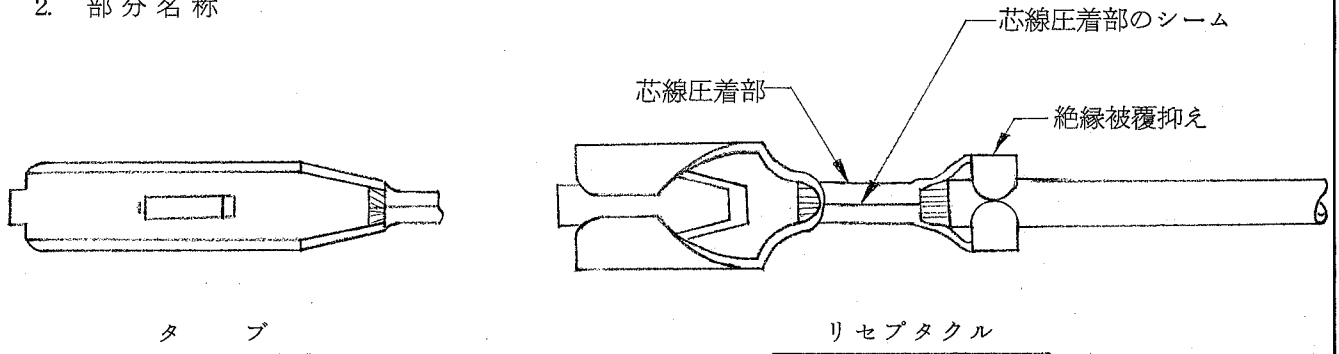


Fig.1

* AMP 登録商標

				作成： Izumida 11/17/87	分類： 取付適用規格 Application Specification
				検閲： Kamura 11-17-87	コード： 114-2023-1 改訂 B
EC 0990-1290-98 11.11.'98				承認： 11/17/87	名称：187シリーズ・ファスティン・ファストン タブ及びリセプタクルコンタクトの圧着条件 Tab & Receptacle contacts Series 187
B 改訂	改訂記録	作成	検閲	承認	年月日
配布	昭和	年	月	日	制定 5 頁中 1 頁

3. 圧着と寸法的必要条件

3.1 電線の切断と被覆むき

A. 被覆むき

絶縁被覆の被覆むき長さは Fig. 4 に示すものであること。

B. 作業上の注意

被覆むき作業にあたっては、いかなるより線に対しても損傷，搔き傷，または切断が生じないように適切な注意を払うこと。

3.2 キャリヤ・ストップの切断タブ及びバリ

A. 切断タブ

切断タブの長さは 0.38 mm をこえないこと。

B. バリ

切断タブのバリは 0.13 mm をこえないこと。

3.3 芯線圧着部の圧着

A. 圧着寸法と形式

圧着高さ，巾及び形式は Fig. 4 に示すものであること。

B. 芯線圧着部の張出し

芯線圧着部の張出しは 0.13 mm をこえないこと。

C. 芯線圧着部のシーム

芯線圧着部のシームは完全に閉じており，より線のゆるみまたはシーム外側から見えるより線がないこと。

D. ベルマウス

(1) 後部ベルマウスの長さは $0.38\sim 0.64\text{ mm}$ であること。

(2) 前部ベルマウスの長さは $0.1\sim 0.39\text{ mm}$ であること。

E. 導体の位置づけ

(1) 電線の末端は圧着後芯線圧着部前端とつらーになるようにするか，または突出しても 0.8 mm をこえないようにすること。

(2) 絶縁被覆抑えと芯線圧着部間のスロット部に絶縁被覆と導体の両方が等分に見えるようにすること。絶縁被覆を芯線圧着部で圧着しないよう充分注意すること。

3.4 絶縁被覆抑えの圧着

A. 圧着寸法と形式

圧着高さ，巾及び形式は，Fig. 4 に示すものであること。

分類： 取付適用規格	標準の名称：187シリーズ・ファスティン・ファストン タブ及びリセプタクル・コンタクトの圧着条件	標準のコード： 114-2023-1	改訂	2 頁
			B	5 頁中

B. 作業上の注意

圧着作業にあたっては、絶縁被覆に切損または破損が生じないように、適切な注意を払うこと。

3.5 ロッキング・ランス

ロッキングランスには変形を生じないこと。また圧着後、ランス高さは Fig.1 に示すものであること。

3.6 コンタクト・ストップ

コンタクトストップには変形を生じないこと。また圧着後製品図面に示す所要事項に合致すること。

3.7 芯合わせ

A. 真直度

(1) 切断タブ及びバリを含むコンタクトの基準線に対する上下の曲りは、Fig.2 に示す限度をこえないこと。ゲージ 92-103186 を用いてチェックすること。

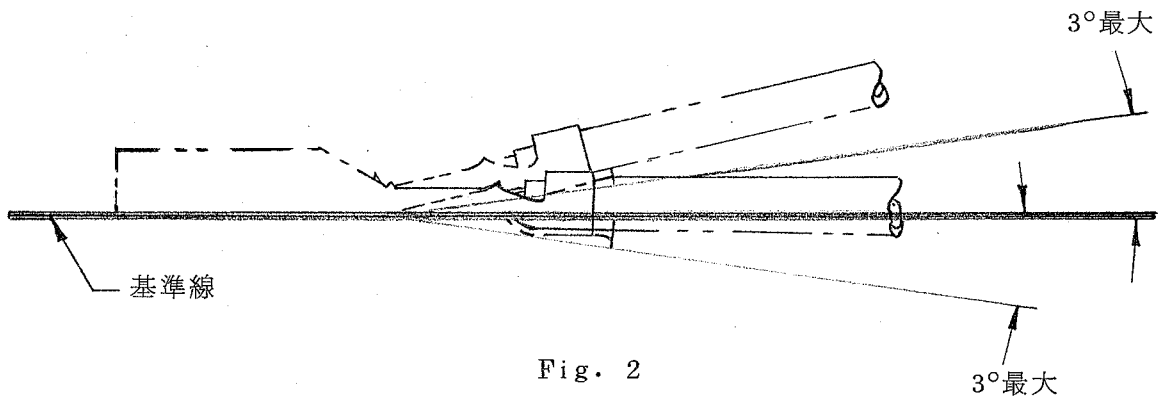


Fig. 2

(2) コンタクトの両側への曲りは、Fig.3 に規定する限度をこえないこと。ゲージ 92-103186 を用いてチェックすること。

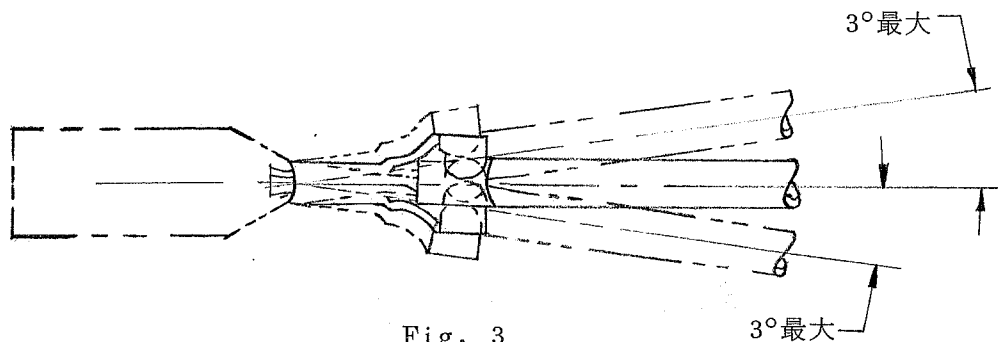


Fig. 3

分類：
取付適用規格

標準の名称：187シリーズ・ファスティン・ファストン
タブ及びリセプタクル・コンタクトの圧着条件

標準のコード：
114-2023-1

改訂 3 頁
B 5 頁中

B. コントクトの組込み

コンタクトをハウジング・キャビティに組込むとき、次に記載する実施ならびに禁止事項を遵守すること。

(1) 実施事項

- (a) “かちり”と音が聞こえるまで、コンタクトを充分挿入すること。
- (b) コンタクトをハウジングに挿入してから、ハーネスを装置に取りつけること。
- (c) 一度抜いたコンタクトは、再度挿入前にロッキング・ランスを起すこと。
- (d) コンタクトを軽く引きもどして挿入が適正かどうか確かめる。
- (e) 常にコンタクトを適正に取扱い、ランスの変形を防止する。

(2) 禁止事項

- (a) 軸方向に対し角度をつけてコンタクトをハウジングに挿入しない。
- (b) 嵌合の際はコネクタをこじらないこと。
- (c) ハウジングの後面まで 38 mm (1.5 in.) 以内の箇所でハーネスを結束しない。
- (d) 電線をハウジングの片側に鋭く折り曲げて固定しない。

C. ハウジング

タブ・コンタクトをタブ・ハウジングに組込んだ後に、力を加えることなく、赤色に着色したリセプタクル・ハウジング・ゲージ P-76-7358 を挿入して、嵌合相手側ハウジングとの芯合わせをチェックし、そのリセプタクル・ハウジング内でタブ・コンタクトが何等あたりがないことを確認すること。嵌合後タブ・コンタクト・ハウジング・アッセンブリを上にして、垂直に保持したとき、この赤色のハウジング・ゲージは自重で脱落すること。

D. ツイストまたはロール

圧着部にコンタクトの使用の妨げとなるようなツイストまたはロールを生じないこと。

分類： 取付適用規格	標準の名称：187シリーズ・ファスティン・ファストン タブ及びリセプタクル・コンタクトの圧着条件	標準のコード： 114-2023-1	改訂	4 頁
			B	5 頁中

コンタクト 型番	電線		絶縁被覆径 mm (吋)	被覆むき 長さ mm ±0.4 (吋)	芯線圧着部			絶縁被覆抑え	
	数	サイズ mm (AWG)			巾 mm (吋)	高さ mm ± ±0.05 (吋)	クリンパー 形式	巾 mm (吋)	クリンパー 形式
60434 タブ	1	0.50-0.56 (20)	2.2-3.3 (.090-.130)	5.7 (.225)	2.03 (.080)	1.40 (.055)	F	4.57 (.180)	F
	1	0.75-0.89 (18)				1.52 (.060)			
	1	1.25-1.42 (16)				1.75 (.069)			
	2	0.50-0.56 (20)	1.63 (.064)			2.8 (.110) (2) 最大			
60435 リセプタクル	1	0.30-0.35 (22)	2.2-3.3 (.090-.130)	5.7 (.225)	2.03 (.080)	1.14 (.045)	F	4.57 (.180)	F
	1	0.50-0.56 (20)				1.19 (.047)			
	1	0.75-0.89 (18)				1.32 (.052)			
	1	1.25-1.42 (16)				1.52 (.060)			

Fig. 4 自動圧着機による圧着寸法表